

神奈川県民ホール 県域展開事業

神奈川近代文学館 特別展「佐藤春夫展 情あらば伝えてよ」連携事業

33のまちと、ひびきあう。

→33

KANAGAWA
33ACT Produced by
神奈川県民ホール

かながわ朗読紀行 ～佐藤春夫

新シリーズ「かながわ朗読紀行」の第1回。

ことば・声・音楽が織りなす至高の芸術体験。

神奈川を舞台に、日本が誇る朗読界の女王と

ギター界永遠のプリンスによる初共演。

みなさまにお贈りする佐藤春夫の世界。

白石加代子
(朗読)

SHIRASHI Kayoko

莊村清志
(ギター)

SHOMURA Kiyoshi ©良知寛洋也

●朗読

朗読：白石加代子

佐藤春夫：第二詩集

『我が一九二二年』より
さんま
「秋刀魚の歌」

ひら
：窓展く

ほか

●音楽

ギター：莊村清志

L.ブローウェル：11月のある日
ほか

●トーク

河野龍也（東京大学准教授、佐藤春夫展編集委員）

※約100分（休憩なし）予定

2026. 11.19

(木) 14:00 開演 (13:30 開場)

山北町立生涯学習センター 多目的ホール

JR御殿場線「山北駅」下車南口から徒歩3分

全席指定（税込）：一般 3,500円 65歳以上 3,000円 U24（24歳以下） 1,500円 ※未就学児入場不可

※本券で、神奈川近代文学館 特別展「佐藤春夫展 情あらば伝えてよ」にも入場いただけます。

KAme（かながわメンバーズ）web先行発売：8月29日（土）／一般発売：9月6日（日）

●チケットかながわ 0570-015-415（10:00～18:00）https://www.kanagawa-kenminhall.com/d/bungaku26_yamakita

〔窓口〕KAAT神奈川芸術劇場（10:00～18:00）、神奈川県立音楽堂（13:00～17:00/月曜休）

●山北駅前観光案内所（山北町ふるさと交流センター）0465-75-2717（9:00～17:00 ※発売日初日は10:00～）

神奈川県足柄上郡山北町山北1840-15

●イープラス <https://eplus.jp/>

主催：神奈川県立県民ホール（指定管理者：公益財団法人神奈川芸術文化財団）

共催：県立神奈川近代文学館、公益財団法人神奈川文学振興会 後援：山北町、山北町教育委員会



神奈川ゆかりの文学者たちのことばを声と音楽にのせて。
建て替えに向けた休館中に県内33市町村での事業を展開する神奈川県民ホールが、神奈川近代文学館と協力して県内各地をめぐる新シリーズ「かながわ朗読紀行」が始まります。第1回は、10～11月に神奈川近代文学館で開催される特別展「佐藤春夫展 情あそば伝へてよ」に合わせ、佐藤春夫の代表作「秋刀魚の歌」を中心に、様々な詩・小説・書簡・エッセイを取りあげ、朗読とギター演奏による文学の旅をお届けします。

※本公演のチケットをお持ちの方は、下記の「佐藤春夫展」にもご入場いただけます。



白石加代子(朗読)
SHIRAI Shi Kayoko

1941年生まれ。早稲田小劇場所属時は、鈴木忠志氏演出「劇的なものをめぐってII」、「トロイアの女」などで世界80都市を巡演。退団後は、蜷川幸雄氏演出作品に多く出演し、映画やTVなどでも幅広く活躍。ライフワークとした「百物語」(演出・鴨下信一)は国内外で20年以上に渡り上演。2023年に演劇界初の日本芸術院会員となる。

河野龍也(トーク) KONO Tatsuya

東京大学准教授、実践女子大学客員研究員。佐藤春夫を中心に、近代日本の文壇史とジャンル編成の歴史を研究している。また、文献実証とフィールドワークを組み合わせた研究手法や、書簡・草稿などの直筆資料の分析と保全に関心を持つ。編著に『知られざる佐藤春夫の軌跡』(武蔵野書院、2022)、『梶井基次郎「檸檬」を含む草稿群―瀬山の話―』(武蔵野書院、2019)、『佐藤春夫読本』(勉誠出版、2015)など。『佐藤春夫と大正日本の感性』(単著・鼎書房、2019)で、第28回やまなし文学賞受賞。



佐藤春夫
SATO Haruo

写真提供:新宮市立佐藤春夫記念館

文豪・佐藤春夫(1892～1964)は、明治から昭和にかけて、詩歌・小説・随筆など多岐にわたる分野で活躍しました。慶應義塾大学部在学中から詩歌や評論を発表し、24歳のとき、都会の喧騒を離れて緑豊かな神奈川県都筑郡中里村(現・横浜市青葉区)に約半年あまり暮らします。この体験をもとに書き上げた小説「田園の憂鬱」が高く評価され、作家としての地位を確立しました。その後、谷崎潤一郎夫人・千代との恋愛、失恋(いわゆる小田原事件)を経て、第一詩集『殉情詩集』をまとめます。第二詩集『我が一九二二年』に収められた「秋刀魚の歌」は、日本近代詩を代表する抒情詩として、現在も広く知られています。



莊村清志(ギター)
SHOMURA Kiyoshi

©Hiromichi NOZAWA

日本を代表するクラシックギター奏者。1969年のデビュー以来、第一線で活躍を続ける。1974年にはNHK教育テレビ「ギターをひこう」の講師を務め、全国的な人気を獲得。現代作品の委嘱・初演にも積極的に取り組み、とりわけ武満徹とは公私にわたり深い交流を築いた。2024年にデビュー55周年を迎えた現在も、円熟した音色と深い音楽性で聴衆を魅了し続けている。

〈チケット取扱い〉

- チケットかながわ 0570-015-415 (10:00～18:00) https://www.kanagawa-kenminhall.com/d/bungaku26_yamakita
〔窓口〕KAAT神奈川芸術劇場(10:00～18:00)、神奈川県立音楽堂(13:00～17:00/月曜休)
- 山北駅前観光案内所(山北町ふるさと交流センター) 0465-75-2717 (9:00～17:00 ※発売日初日は10:00～)
神奈川県足柄上郡山北町山北1840-15
- イープラス <https://eplus.jp/>

お問い合わせ:(公財)神奈川芸術文化財団 県域展開事業課 045-662-5901 (代表) 平日10:00-17:00

託児サービス 料金:2,000円(税込)
予約期間:11月12日(木)までに要事前予約
お問い合わせ・申込先:
株式会社明日香 電話 0120-165-115
(土日祝日を除く10:00～17:00)

アクセシビリティ(鑑賞サポート)あり
詳しくは HP まで

神奈川県民ホールは休館中においても、県内33市町村で多彩な芸術文化を届ける活動
《KANAGAWA 33 ACT》を展開し、地域に身近な感動を広げています



かながわメンバーズ(KAmE)になると、人気のチケットの先行予約や、公演情報、チケット販売情報など、お得な情報をメールマガジンでお届けします。

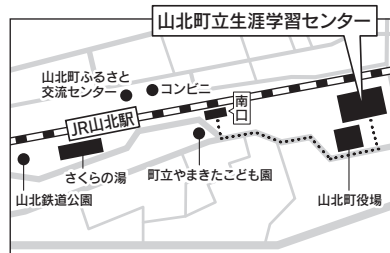


※未就学児入場不可

※やむを得ない事情により内容、出演者等が変更になる場合がございます。

※上演中はご入場いただけません。開演時間に遅れた場合は、案内係の指示に従ってください。

※車椅子・ほしよ犬同伴でご来場の方は、事前に「チケットかながわ」までお問い合わせ・ご予約ください。



神奈川県足柄上郡山北町山北1301-4
ACCESS

〈JR御殿場線〉「山北駅」下車南口から徒歩3分
※生涯学習センターの駐車場には限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。



〔特別展〕

佐藤春夫展 情あそば伝へてよ

会期:2026年10月3日(土)～11月29日(日) ※月曜休館(10月12日、11月23日は開館)

会場:県立神奈川近代文学館 第2、3展示室

〒231-0862横浜市中央区山手町110 港の見える丘公園内

編集委員:河野龍也(東京大学准教授)

観覧料:一般800円(600円)、65歳以上・20歳未満及び学生400円(300円)

高校生100円、中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金

主催:県立神奈川近代文学館、公益財団法人神奈川文学振興会

